

# (4) 鉄道をめぐる最近のトピックス

## 目 次

地域公共交通総合連携計画(第1号)の策定	……………1
日暮里・舎人線の開業について	……………2
日本信号製自動改札機の一斉ダウンについて	……………3

# 地域公共交通総合連携計画(第1号)の策定

平成19年10月1日に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が施行  
 本法の施行を受け、平成19年11月15日に、富山市が国土交通大臣に対して「地域公共交通総合連携計画」を送付するとともに、「**軌道運送高度化実施計画**」の認定を申請(全国で**第一号**の認定申請)  
 本法に基づく**軌道法の上下分離の特例措置**を活用予定  
 (整備主体:富山市、運行主体:富山地方鉄道株式会社)



まちづくりと一体的に整備したLRTのイメージ



区間	丸の内～西町(単線)
距離	約940m
新設停留場	3箇所
運行間隔	概ね10分～15分間隔
開業目標	平成21年度

低床車両の導入  
 (富山ライトレールと同様のもの)  
 バリアフリー化等、停留場のハイグレード化  
 電車の揺れを抑える軌道(制振軌道)の導入

# 日暮里・舎人線の開業について

東京都区部北東部の交通不便地域の解消、沿線地域の発展等を目的として整備が進められている、東京都地下鉄建設株式会社が平成7年12月28日に特許を受けた日暮里～見沼代親水公園(営業キロ9.7km)の軌道について、東京都は平成19年10月1日に軌道法に基づく軌道事業譲渡許可を受け、平成20年3月30日には運輸営業が開始できる見込みとなったので、軌道の旅客運賃を設定するべく申請し、10月31日に認可された。

## 営業概要

営業区間	日暮里駅～見沼代親水公園駅間
路線延長	9.7km(営業キロ)
駅数	13駅
輸送システム	新交通システム
車両編成	5両編成(定員約260人)
所要時間	約20分(表定速度約29km) (現状ではラッシュ時1時間程度)
開業予定	平成20年3月30日予定

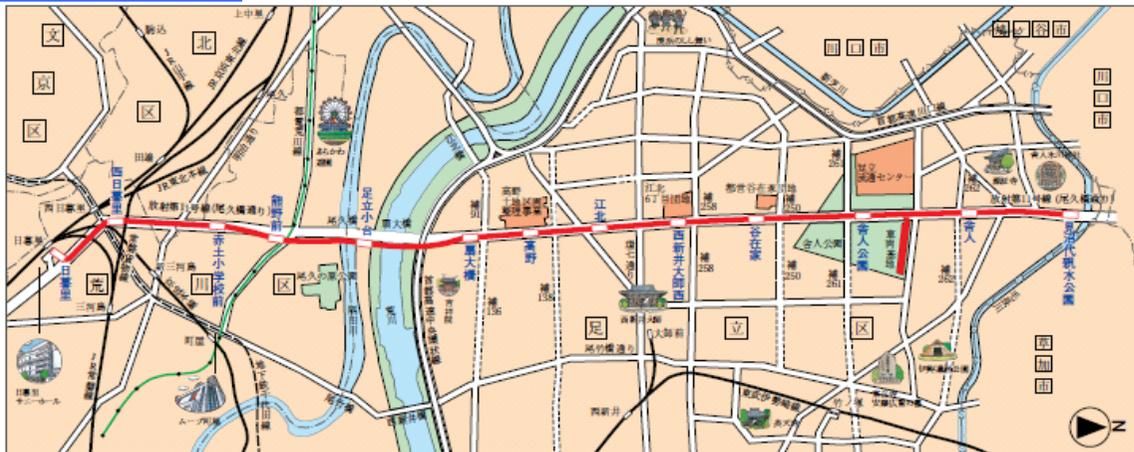
## 路線図



## 今回認可された運賃

キロ程 (km)	普通旅客 運賃	定期旅客運賃(円/1ヶ月)	
		通勤定期	通学定期
1	160	6,240	2,880
2		7,410	3,420
3	220	8,580	3,960
4		9,750	4,500
5	270	10,530	4,860
6		11,310	5,220
7		12,090	5,580
8	320	12,480	5,760
9		12,870	5,940
10		13,260	6,120

## 路線図



# 日本信号製自動改札機の一斉ダウンについて

## 概要

発生日時: 2007年10月12日(金)早朝 (改札機立ち上げ時)

発生箇所: 16事業者662駅(日本信号製自動改札機設置駅)

〔 P A S M O : 13事業者、470駅、3050台  
S u i c a : 3事業者、192駅、1328台 〕

主な経緯:

平成19年10月12日早朝、Suica・PASMO加盟の首都圏の16社の自動改札機(日本信号製)において電源を入れても起動できないトラブルが発生

午前5時にJR東日本とパスモ協議会の合同対策本部設置し、順次以下の措置を実施

・ 応急措置(自動改札機とサーバーの通信を切断して立ち上げ)

・ 自動改札機の開放扱い

午前11時までに全ての駅で応急措置完了

推定影響人員: 約260万人

(PASMO約160万人、Suica約100万人)

## 対策

プログラム改修: 平成19年10月13日改修プログラムのインストール開始、PASMOについては14日に完了、Suicaについては16日にそれぞれ措置を完了

検討会設置: 平成19年10月17日「首都圏のICカード自動改札機におけるトラブルに関する検討会」設置 (Suica、PASMO関係3団体、鉄道事業者(29社+2局)、国土交通省)

## 原因

- 各駅の自動改札機は、毎朝センターサーバーより送信される無効カード番号等のデータについて、書き込みを行う仕組み
- 日本信号製の共通運賃判定モジュール(ICカード判定部)を搭載した自動改札機において、**センターサーバーから送信されたデータを書き込む共通運賃判定モジュールのプログラムにバグ**があったため、処理に不具合が発生し、自動改札機が正常に起動しない事象が発生

